

平成23年3月作成

# 群馬県小学校

## 非行防止（万引き防止）教室



上州くん



みやまちゃん

群馬県警察本部  
群馬県教育委員会

## も く じ

|     |                               |     |
|-----|-------------------------------|-----|
| I   | 小学校高学年 道徳（万引き防止）の指導事項         |     |
| 1   | 小・中・高校生の規範意識に関する調査結果から        | 1   |
| 2   | 群馬県の万引きの件数と理由                 | 2   |
| 3   | 万引きが及ぼす悪い影響は                  | 2   |
| 4   | 高学年の特色                        | 3   |
| 5   | 補足説明の例                        | 4   |
| 6   | 参考資料                          | 8   |
| II  | 小学校高学年 道徳指導案                  | 1 0 |
| 1   | 主題名                           | 1 0 |
| 2   | 資料名                           | 1 0 |
| 3   | 主題設定の理由                       | 1 0 |
| 4   | 道徳指導案（略案）                     | 1 1 |
| 5   | 資料「万引きをすることは？」（前半・後半）         | 1 2 |
| 6   | 個人用ワークシート「万引きをすることは？」         | 1 4 |
| 7   | 実施案                           | 1 6 |
| III | 小学校中学年 体験型万引き防止教室             | 1 8 |
| 1   | 少年警察補導員等とのTTによる体験型万引き防止教室について | 1 8 |
| 2   | 「体験型非行防止教室」実施案                | 1 9 |
| 3   | 個人用ワークシート「万引きをすることは？」         | 2 1 |

この資料についての改善点や意見、実施上の疑問点等ありましたら  
次の連絡先まで、お問い合わせください。

連絡先：群馬県警察本部少年育成センター

電話・FAX（027）－254－3741

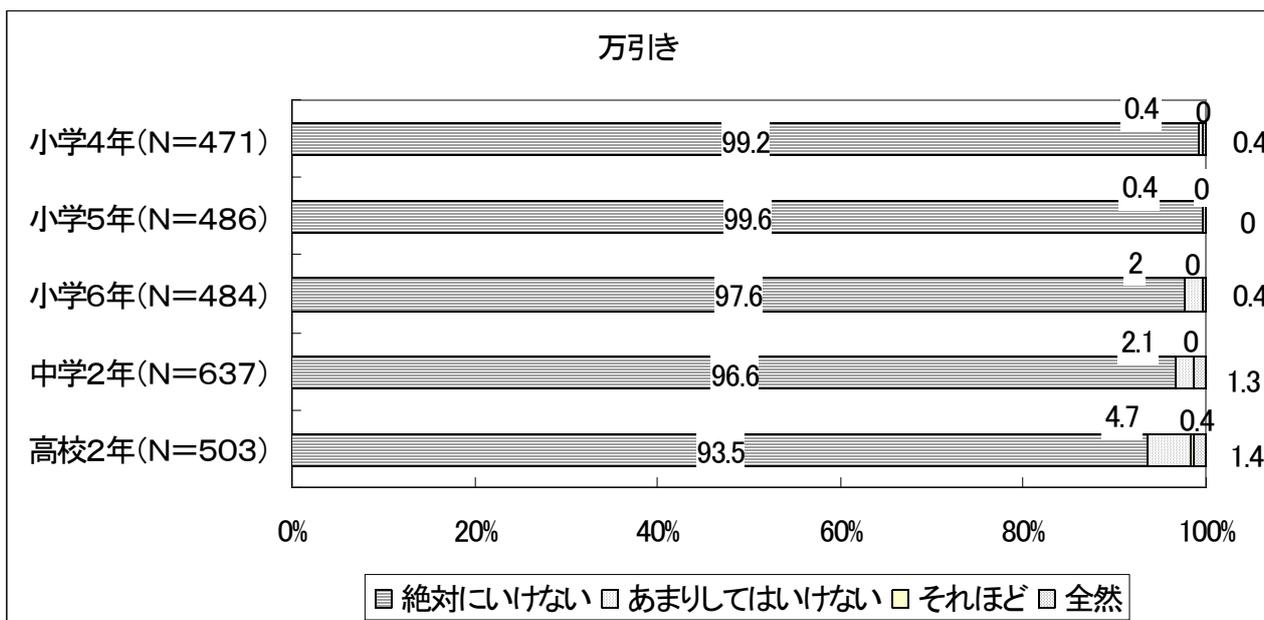
# I 小学校高学年 道徳（万引き防止）の指導事項

## 1 小・中・高校生の規範意識に関する調査結果から

(Nは回答者数)

問 万引きをすることについて、あなたはどのように思いますか。

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 絶対にしてはいけないと思う | 2 あまりしてはいけないと思う |
| 3 それほど悪いとは思わない  | 4 全然悪いとは思わない    |



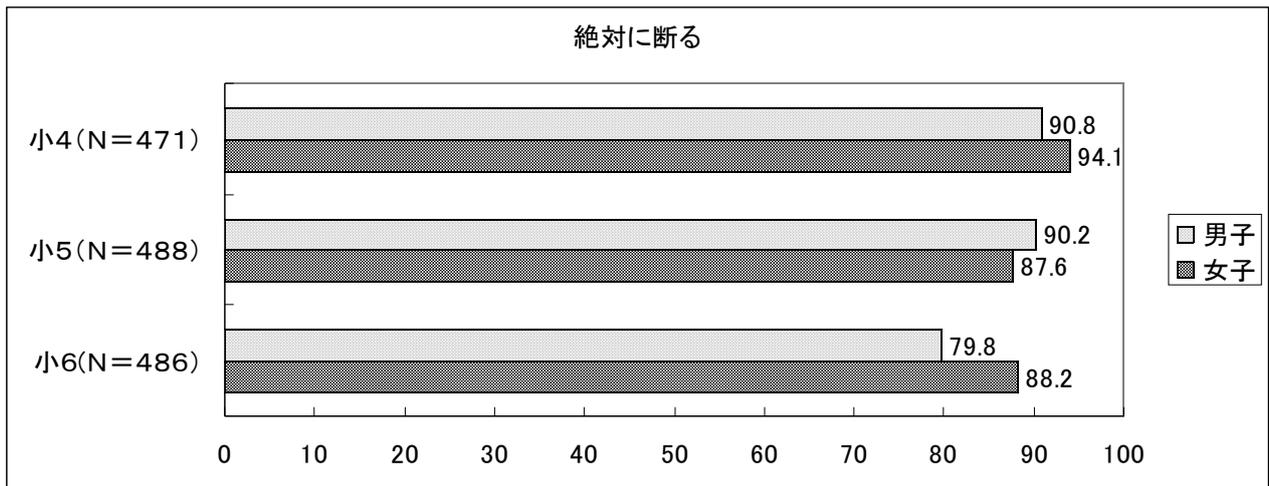
平成20年12月に実施した「小・中・高校生の規範意識に関する調査」では、万引きを「絶対にしてはいけない」と考える割合が、小学4年生で99.2%、小学5年生で99.6%とほぼ100%近くになっている。ところが小学6年生で97.6%、中学2年生で96.6%、高校2年生では93.5%と少しずつ減少している。

小学6年生ころから「あまりしてはいけない」という割合が少しずつ増加し、年齢が上がるにしたがって「少しくらいなら」という気持ちが出てくると考えられる。

次に小学生について、「仲のよい友達から万引きを誘われたらどうしますか。」という質問を行った。

問 あなたは、仲のよい友達から万引きを誘われたらどうしますか。

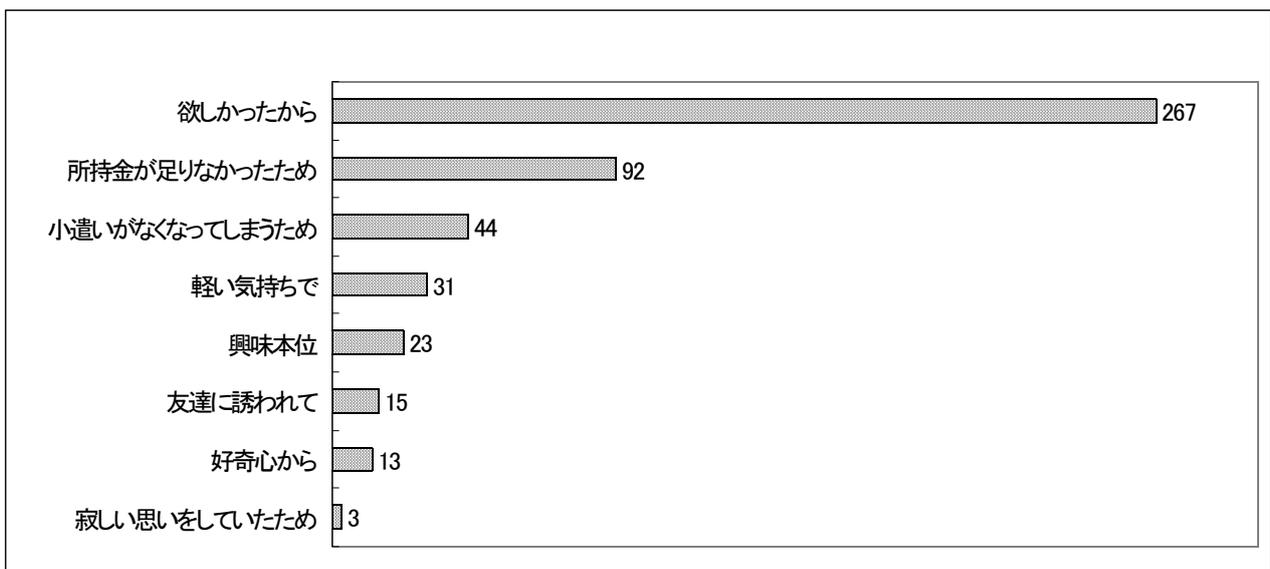
- |         |         |
|---------|---------|
| 1 絶対に断る | 2 たぶん断る |
| 3 断れない  | 4 わからない |



万引きを誘われた時に、「絶対に断る」割合は、小学生男子は4年生90.8%、5年生90.2%から6年生になると79.8%と急激に減少している。女子でも4年生の94.1%から5年生87.6%、6年生88.2%と減少している。小学6年生男子では、友達から誘われると断れないという状況が顕著に現れている。

小学生から中学生、高校生へと成長する中で、子どもたちは、活動範囲や視野を広げ、自らの価値観を形成し、物事の善悪を自分自身で判断するようになっていく。小学4年生、5年生の時には、大人の定めた「きまり」そのままに振る舞っていた子どもたちも小学6年生頃から中学生、高校生と成長する段階で、「きまり」の意味を問い直し、「きまり」を自分の立場、解釈でとらえようとしていく。発達に不可欠なそうした過程の中で、自己を確立していく子どもたちに、「社会規範」の意味と必要性を理解させることの重要性が本調査では示されている。

## 2 群馬県の万引きの件数と理由



平成21年中に警察で万引きで検挙補導した少年488人について分析を行った結果、万引きの動機として一番多かったのが「欲しかったから」で267人（全体の約55%）、次に多かったのが、「所持金が足りなかったため」で92人（約20%）、3番目が「小遣いがなくなってしまいうから」で44人（約10%）となっている。

動機が単純で罪の意識が薄く、公正・規範意識が欠如し、また、自分の気持ちを抑えることができないという耐性の弱さがうかがえる。その他の理由でも「軽い気持ちで」「興味本位」「友達に誘われて」など、自己中心的な身勝手な動機となっている。

### 3 万引きが及ぼす悪い影響は（なぜ万引きをしてはいけないのか）

※ 児童の発表した意見を引用しながら、次の内容を話すのが望ましい。

- ・ ドロボウだから。

万引きはドロボウです。窃盗という犯罪になり、10年以下の懲役または50万円以下の罰金となります。

- ・ お店に迷惑をかけます。

お店は商品を盗まれて損をします。「万引き倒産」という言葉もあるように、万引きによってお店がつぶれてしまうようなこともあります。日本出版インフラセンターの調査によると、書店で1年間に万引きされる本の金額は約192億円にもなると言われています。（2008年4月11日、「書店万引き調査等結果概要」より）

- ・ 自分の信用をなくします。

善悪の判断ができなくなり、自分の良さを生かせなくなります。「あの子は万引きをするような子だったのか・・・。」と思われ、家族や友達からの信用がなくなります。

- ・ 家族を悲しませ、迷惑をかけます。

自分の子どもが悪いことをして大変ショックを受けます。どうして万引きをするような子になってしまったんだろう、情けない、今までの育て方が悪かったのか、お店の人やおまわりさんに迷惑をかけて申し訳ないなど親として自信をなくします。また、お父さんやお母さんがお店に行き店長さんに謝ったり、交番や警察署へ行って謝ったり、家族に迷惑をかけます。

- ・ 繰り返すと罪の意識がなくなり、どんどん悪くなります。

万引き等の窃盗を繰り返しているうちに罪の意識が薄くなり、強盗や殺人などの凶悪犯罪を起こした人がいます。

- ・ 社会のルールを守らないと、多くの人を被害をこうむります。

自分の物が大切なように、相手にとっても相手の物が大切です。お互いに相手を尊重する気持ちがあつて安心して暮らせる世の中になります。きまりや法律を守り、人に迷惑をかけないようにすることが社会生活をしていく上で大切です。

#### 4 高学年の特色

中学年を対象とした万引き防止教室は、

- ①万引きを誘われたときの気持ち、
- ②お店の人に見つかったときの気持ち、
- ③家族の人の気持ち、

について考えさせ、心情に訴えてどうすればよかったかを考えさせる構成となっている。

高学年は、知的理解から判断力を養う構成となっている。

- ①万引きを誘われたとき断れない理由（万引きの6年生のアンケート結果で97.6%の人が「絶対にしてはいけない」と回答しているが、友達から誘われた場合、「絶対に断る」割合が男子79.8%、女子88.2%と減少している）を考えさせる。
- ②万引きを誘われた時の気持ち（「見つからなければいいんだよ」という誘いとまどう気持ち）から、見つからなくても万引きはドロボウであることを理解させ悪いことをしたという気持ちが残ることに気づかせる。
- ③警察官に万引きをしていないことをわかってもらおうとする気持ち（「ぼくは何もとっていません。見ていただけです。」）から、見張りは万引きを手伝うことになり犯罪となることを理解させる。
- ④警察官の説明を聞いて深くうなずいた時の気持ちから、きまりや法律はわたしたちを守るためにつくられていることに気づかせ、私たち一人一人がきまりや法律を守り、人に迷惑をかけないようにすることが大切なことを理解させる。
- ⑤今までに悪いこととわかっていてやってしまったこと（悪い誘いに負けてしまったこと）がないか振り返らせる。
- ⑥誘惑に負けそうになっても頑張った（がまんした）ことがあったら発表させ、正しいことをやりぬいたときの気持ちのよさを共有させる。

#### 5 補足説明の例

導入 なぜ、万引きの誘いを断れないのか？

<予想される反応>

**断りにくい、仲間はずれにされる・・・**

友達からの誘いを断ると悪い気がする。断ると、仲間外れにされるような気がする。

**万引きは悪いことだが、ちょっとしたことでたいしたことではない・・・**

万引きはお菓子などちょっとしたものをとるだけで金額も少ない。見つかったら謝ってお金を払えばよい。自分一人じゃない、友達と一緒にだからと罪の意識が薄れる。

**できないと思われたくない、できると言った方が格好良い・・・**

「こんなこともできないのか。」と思われたくない。臆病者と思われたくない。悪いことでも「できる」と言った方が格好良い（強そうな）気がする。

## 主発問 1

「でも・・・。」と言った時、B男はどんな気持ちだったでしょう。

<予想される反応>

### **見つかるかも知れない・・・**

- ・絶対に見つからないとは限りません。見つかったら大変なことになります。
- ・万引きはドロボウです。お父さんやお母さんがお店に呼ばれ、店長さんに謝り、交番や警察署に連れて行かれて叱られます。
- ・お父さんやお母さんは、自分の子どもが悪いことをして大変ショックを受けます。
- ・どうしてドロボウをするような子になってしまったのか、お店の人やおまわりさんに迷惑をかけて申し訳ない、情けない、今までの育て方が悪かったのか、親として自信をなくします。

### **万引きは見つかっても見つからなくてもドロボウ・・・**

- ・見つからなくても万引はドロボウです。
- ・ドロボウをしたという事実は消えません。
- ・お店の人に見つかったから品物を返しても、後からお金を払ったとしても一度やってしまった事実は消えません。ドロボウはドロボウです。

### **見つからなくても悪いことをした・・・**

- ・たとえ見つからなくても悪いことをしたということは自分自身が一番よく知っています。
- ・自分の良心がとがめ、悪いことをした、はずかしいことをしたという気持ちになります。
- ・悪いことをしたという気持ちが残りいつまでも気持ちがすっきりしないで、楽しい気持ちになれない。いやな気持ちが続きます。

### **見つからないと万引きを繰り返す・・・**

- ・万引きがうまくいくと、思ったほどたいしたことではなかったという気持ちになり、もう1回やってみようと思います。何回か繰り返していくうちに最初ほどドキドキしなくなり、盗みになれてきて「悪いことをしている」という気持ちが薄れていきます。
- ・万引きを一緒にする悪い仲間ができると、そのグループから抜けられずにほかの悪いことまで平気でするようになってしまいます。

## 主発問 2

「ぼくは何もっていません。見ていただけです。」と言った時、B男はどんな気持ちだったでしょう。

<予想される反応>

### **自分がとったわけではない**

### **見ていただけ**

### **見ていただけだから悪くない**

直接とっていなくても次の理由により万引きしたことになります。

### **自分でとらなくても、万引きの手伝いをしたことになる。**

お店の様子を見て、今なら大丈夫という合図をすることは、協力して万引きをしていることになります。万引きすることを手伝っていることになります。二人で協力して万引きをしているので、直接とっていないなくても一緒に万引きをしたことになります。

### **万引きした本をもらうことになっているので2人でとったのと同じ。**

万引きした攻略本をもらう気持ちもあって合図をしたわけですから、「ぼくは何もとっていない。見ていただけです。」という言葉は言い逃れになります。

「ぼくはとっていない」「ぼくだけじゃない、他の人も万引きしている」「〇〇ちゃんが言ったから」と言うように、「自分は悪くない」と言っても、万引きという犯罪を行えば自分で責任をとらなければなりません。自分自身が罰を受けることになります。人のせいにすることは出来ません。やって良いことか、悪いことか自分でよく考えることが大切です。

### **万引きはドロボウ**

万引きはドロボウです。ドロボウは犯罪です。何もとっていないと言っても、見張りをすれば同じです。警察に捕まる犯罪です。

### **お店の人は、販売した利益で生活している。お店の人は本を盗まれて困る。**

万引きする人は、軽い気持ちだった、たかが万引きと思うかも知れませんが、お店の人にとっては大きな問題です。仮にですが、500円の商品が盗まれた場合を考えてみてください。500円の商品を一個売ればお店のもうけが500円あるわけではありません。その商品からのもうけが一個当たり50円だとすると、500円分を取りもどすだけでも、同じ商品を10個売らなければならないことになります。「万引き倒産」という言葉もあるように、万引きによってお店がつぶれてしまうようなこともあります。ある調査によると、書店で1年間に万引きされる本の金額は192億円にもなると言われています。

(日本出版インフラセンター、2008年4月11日、「書店万引き調査等結果概要」より)

### 主発問3

深くうなずいたB男はどんなことを言ったのでしょうか。

<予想される反応>

### **見ているだけとかもらうだけとか軽く考えていたが、大変悪いことをしてしまった**

見張りは自分が直接盗るわけではないので罪が軽いように思いがちだが、協力して万引きしたことになる。万引きした物をもらうことも犯罪ということが分かった。

### **家族や友達、お店や社会にも大きな迷惑をかけてしまった**

万引きをすると、どうしてドロボウをするような子になってしまったのか、今までの育て方が悪かったのかなど家族は悲しく切ない思いをする。親として自信をなくしてしまう。

友達からも「ドロボウをするような子だったのか。」と思われ信用がなくなる。

お店は商品が盗まれてそん害を受ける。

## **きまりや法律はわたしたちを守るためにつくられていると思った**

法律は正しい人が安心して生活できるようにつくられている。

私たち一人一人がきまりや法律を守ることが大切だと分かった。

## **悪いことは絶対にしない。悪いことをさそわれたらきっぱりとことわろうと思った**

きまりや法律をやぶらない。

私たち一人一人が人に迷わくをかけないようにすることが大切ということが分かった。

## **<万引きに関する説明の例>学級の実態により補足説明する**

### **※ 万引きの常習化について**

万引きをする人は、たかが消しゴムひとつ、お菓子ひとつぐらいと軽く考えるかも知れませんが、万引きの回数を重ねると欲しいという気持ちをおさえられなくなりさらに万引きの回数が増えてしまいます。こうしたことが続くと、もっと高い物が欲しくなります。やって良いことと悪いことの区別がつかなくなって自分でやめることができなくなってしまいます。

### **※ 万引きから凶悪犯罪へ**

万引きが常習化すると他の恐喝や暴行事件等の問題行動へ発展することがあります。万引きが常習化して悪いことをすることに慣れてしまうと善悪の判断ができなくなり、欲しいという気持ちをおさえられなくなり、自分より弱そうな子をおどしたり暴力をふるってお金をとったりすることもあります。

### **※ グループでの万引き**

最近「友達と一緒に」とか「みんなで」とか集団で行う万引きが増えています。グループでの万引きでは「自分ひとりではない」と罪の意識が薄くなったり、「友達と一緒にだから」と気持ちが大きくなったりして万引きをしてしまうことがあります。友達と一緒にゲーム感覚で万引きをすることもあります。スリルや気持ちの高ぶりを楽しんでいるのかも知れませんが、こうなるとやみつきになって自分自身でやめることが出来ずどんどん深みにはまってしまいます。

また、グループでの万引きでは集団の結束力や力の誇示のために万引きを行うことがあります。悪いことでも仲間のためならできる、そのくらい仲間のことを大事にしているという気持ちを表すために万引きをします。本当はやりたくないと思っても「こんなこともできないのか」と言われるのがいやで、強がってやってしまう場合もあります。そういうグループから抜けられずに、おどしたり暴力をふるって他人の物を盗むなど残忍で悪いことを平気でしてしまうこともあります。

あるいは、自分自身が「いじめ」や「恐喝」の被害者となってしまう場合もあります。

## ※ 自分でやったことには責任が伴う

軽い気持ちだった、友達から誘われたから、例え先輩から命令されて断れなかったと言っても、犯罪を犯せば自分で責任を負わなければなりません。罪を犯したという事実は消えません。誘ったり、頼んだ人のせいにすることはできません。はっきり断ることが大切です。また、友達が万引きをしないように注意することができればもっとよいですね。自分でやめさせることができなければ、家族や先生に教えてやめさせることも大切なことです。友達が悪いことをしないように引き止めることが本当の友達だと思います。

## ※ 自分で正しいと思ったことをやり通す

やって良いことか悪いことか、自分で判断する力を持つことが大切です。そして、悪いことはしない、悪いことに流されないという強い気持ちを持つことです。自分の良心に正直に生きて欲しいと思います。

## 6 参考資料

### ・ 保護者の姿勢

万引きは初発型非行と呼ばれ、非行の入り口といわれます。初発型非行は最初の指導が大切で、万引きという行為の罪の意識を自覚させ、自分の行為に対する反省をさせることが肝心です。万引きの事実を明確に把握して、子ども自身の問題点に気づかせ、対処の仕方を十分に考えさせます。「軽い気持ちだった」「スリルがあるから」「出来心だ」「自分だけではない」というような気持ちを変えさせることです。

被害者への謝罪と物品の返却や代金の支払いなど、保護者が同行して誠意をもって謝罪している親の姿を見せることによって、万引きをしたことがいかに重大なことであったかを、心から理解することができます。

ところが、保護者が「店の商品の並べ方が悪い」「友達に誘われたから」「遊び半分でやったこと」「出来心だ」というような対応をすると、子どもは反省するどころか、たまたま運が悪かっただけというようなことになりかねません。保護者の対応が指導の結果に大きく影響します。保護者と連携して指導することが大切です。

### ・ 保護者の望ましくない対応

#### ● 子どもばかりを責める。

腹立たしさが優先し感情に任せて叱りとばしても何も解決しません。

#### ● 友達のせいにする。

友達を責めることばかりに集中していると、本当に向き合わなくてはならない子ども自身の問題点を見過ごしてしまいます。

- 学校の処分や世間体ばかり気にする。  
学校には隠してもらいたい、人には知られたくない、世間体が大事、これでは非行は繰り返されます。
- 犯罪が発覚するのを親が隠そうとしていないか。  
見つからなければよいのでしょうか。店への謝罪や学校・警察への連絡など保護者が責任の取り方を身をもって示しましょう。  
(被害者への謝罪と物品の返却や代金の支払いなど、誠意を持って謝罪している保護者の姿を見せることで、保護者の社会的なかわりや役割を子どもは学習していきます。そのことを通して、多くの人に迷惑をかけたか悲しんだりする人がいることに気づかせることができ、万引きをしたことがいかに重大なことだったかを自覚させることができます。)
- 子どものことをきちんと話し合える家族関係ができているか。  
子どものことは母親任せ・・・となっていませんか。  
家族全体の問題としてとらえましょう。親として子どもの万引きに真正面から向き合い、その行為が被害者にとって大変な迷惑をかける「重大な犯罪」であることを認識させることです。また、子どもがどうして盗みという行為を行ってしまったのか、その背景を考えていく必要があります。
- 親の方に問題がなかったか振り返ることも大切なことです。  
お小遣いの与え方、お金の管理の仕方はもちろんのこと、親も気安く子どもを泊めたり泊められたりということを許していなかったかなど、規範意識の低下を招くようなことがなかったか、親としての関わり方を振り返り見直すチャンスです。
  - 友達との品物の貸し借りはなるべくさせない。
  - 家庭での現金の管理をきちんとする。
  - 見慣れない物を持っていないか注意する。
  - 小遣いの使い方を把握するなど。
 普段から金銭感覚がきちんと身につくような配慮が必要です。
- ・ グループでの万引きの場合の留意点
  - グループでの万引きでは、罪の意識が薄くなり、強盗、恐喝などもっと凶悪な犯罪も平気でするようになる場合もあります。
  - グループでの万引きでは、非行グループの仲間の結束を強めるための「遊び感覚的な万引き」の場合もあります。
  - グループでの万引きでは、そのグループから抜けられずに、ほかの悪いことまで平気でしてしまう場合もあります。
  - グループでの万引きでは、「いじめ」や「恐喝」などにあつて万引きさせられている場合もあります。

## 小学校高学年 道徳指導案

### 1 主題名

「やって良いこと、悪いこと」

### 2 資料名

「万引きをすることは？」

### 3 主題設定の理由

#### ・ 価値について

内容項目 4ー・「公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たす。」に該当する資料である。

万引きの動機として「欲しかったから」とか「所持金が足りなかったため」など、自分さえよければよいという姿が見られ規範意識が低下している。罰則や他人からの押しつけがあるから守るのではなく、自ら守ることによって、自分もみんなも安心して生活することができる。罪を犯したり人に迷惑をかけたりしないという姿勢が、社会生活をしていく上で大切なことである。

児童にきまりや法の意義を理解させ、「やって良いことと悪いこと」を自分で判断して行動し、誘惑に負けない強い意志を持たせ、遵法の精神を養いたい。

#### ・ 児童について

平成20年12月に実施した「小・中・高校生の規範意識に関する調査」では、万引きが犯罪であることは小学生でもほぼ100%が知っている。しかし、実際の生活の中では、自分の利害得失や相手への遠慮や強がりから、短絡的に判断して行動してしまうことが多い。

この原因として、見つかったら品物を返したりお金を払えばよい、見張りは自分が直接盗るわけではないので罪が軽いというように自分に都合の良い解釈をしがちなのが考えられる。また、「私だけではない、他の人も万引きをしている」「友達が誘ったから」というように、責任転嫁しようとする傾向がある。

そこで万引きに関する具体的場面に即してこういうことが犯罪になるということについて確認し、誘われても命令されても罪を犯せば自分で責任をとらなければならないことを自覚させる。この授業を通して、悪いことはしない、正しいことは難しくてもやりぬくという道徳的判断力と自己統制力を育てたい。

#### ・ 資料について

友達から万引きを誘われ、断り切れずに見張りを引き受けてしまうB男を通して、誘われても軽い気持ちであっても一度万引きをしてしまえば自分で責任を負わなければならないことを理解させ、誘惑に負けないことの大切さを考えさせる。その上で、持ち主の物を守るために、盗むことも、盗んだ物をもらうことも、盗んだ物を買うこともやってはいけない犯罪と決められていることに触れ、法律は安全に安心して生活する世の中にしようとしてつくられていることに気づかせ、進んできまりや法律を守ろうとする気持ちを育てる。

#### 4 道徳指導案（略案）

##### 1 (テーマ) 「やって良いこと、悪いこと」道徳4－(1)

正しいと思ったことは勇気をもって行う。正しくないことは勇気をもって止める。

##### 2 ねらい

- 万引きは犯罪であり、友達からさそわれても命令されても自分で責任を負わなければならない。法律の意義を理解し、正しいことは勇気をもって行い、正しくないことは勇気をもって断る判断力を育てる。

##### 3 準備 アンケート結果 資料「万引きをすることは？」(前半、後半)、個人用ワークシート

##### 4 展開

| 過程 | 時間        | 学習活動・予想される生徒の反応   | 教師の支援及び指導上の留意点  |
|----|-----------|---|---|
| 導入 | 7分        | 1 本時の課題について聞く。<br>○アンケート結果から問題点を考える。<br>・万引きについて 97.6 %の人が「絶対にしてはいけない」と回答しているが、友達からさそわれた場合、「絶対に断る」が男子 79.8 %、女子 88.2 %と減少しています。なぜ、断れないのでしょうか。<br>・ことわりにくい、仲間はずれにされる。<br>・ちょっとしたことでたいしたことではない。<br>・できないと思われたくない、できると言った方が格好良い。             | ・ねらいとする価値への方向付けをする。<br>○6年生のアンケート結果(万引きに対する意識調査)を提示する。                                  |
| 展開 | 前半<br>15分 | 2 資料の前半を読んで話し合う。<br>○「でも・・・」と言った時の気持ち<br>・見つかるかも知れない。<br>・見つからなくても万引きはドロボウ。<br>・見つからなくても悪いことをしたという気持ちが残る。<br>○「ぼくは何もとっていません・・・」と言った時の気持ち<br>・自分がとったわけではない。<br>・見ていただけ。<br>・見ていただけだから悪くない。   | ○見つからなくても万引きは犯罪であること。悪いことをしたという気持ちが残ることに気づかせる。<br>○見張りをすることは万引きを手伝うことになることに気づかせる。       |
|    | 後半<br>15分 | 3 資料の後半を読んで話し合う。<br>○深くうなずいたB男はどんなことを言ったのでしょうか。<br>・軽く考えていたが大変悪いことをした。<br>・家族や友達、お店や社会にも迷惑をかけた。<br>・きまりや法律は私たちを守るためにある。<br>・悪いことは絶対にしない。<br>4 価値に照らして自分自身を振り返る。<br>○悪いさそいに出たことがあるか。<br>ある( 人 ) ・ ない( 人 )<br>○悪いさそいに出けそうになってもがまんできたことがあるか。 | ○警察官の話聞いて反省し心を新たにす気持ちを書かせる。<br>○今までの生活を振り返らせる。<br>○正しいことをやりぬいたことを賞賛し、そのときの気持ちの良さを共有させる。 |
| 終末 | 8分        | 5 本時のまとめをする。<br>○ 補導員さんのお話を聞く。<br>○ まとめの感想を書く   | ◎補導員さんには、専門的な立場から、万引きでつかまった小学生の処遇について説明していただき、悪いことは勇気を持って断ることについて話してもらおう。               |

##### 5 評価

- きまりや法律は、わたしたちを守るためにつくられていることを知り、私たちが進んで守ることによって安全で安心な世の中になっていることを理解できたか。

資料「万引きをすることは？」（前半）

A男とB男は同級生の仲良しです。二人とも少年野球のチームに入っています。今日は土曜日で、午前中は少年野球の練習をして、午後はA男の家に来てゲームをしています。A男が「このゲームおもしろい。明日新しいのが発売になるんだ。買いに行くから一緒にいかないか。」とB男をさそいました。

日曜日に、二人は自転車でぐんまショッピングセンターへ向かいました。ゲーム用品コーナーでA男はお目当てのゲームソフトを見つけました。とてもわかりやすい攻略本もありましたが、攻略本を買うお金はありません。しかたなくゲームソフトだけ買いました。その時、偶然、お客の一人が攻略本を自分のバックに入れて立ち去るのを見ました。

A男：「B君、今の見た。」

B男：「うん、見た。」

A男：「おれも攻略本が欲しいんだ。とっちゃんおつかいな。」

B男：「えっ、そんなのダメだよ。」

A男：「見つからなければいいんだよ。」

B男：「でも……。」

A男：「君がとるわけじゃない。見てるだけでいいんだ。二冊とるから、一冊は君にやるよ。」

B男も攻略本を欲しいと思いました。店員はレジで会計をします。B男は「今ならやれるかも知れない。」と思い合図をしました。二人とも「見つからなくてよかった。」と思いました。

そして、二人が店を出ようとしたときです。店員に呼び止められました。万引きをしたことが見つかったのです。二人は事務室へ連れていかれ、間もなく警察官がやってきました。B男は、「ぼくは何もとっていません。見ていただけです。」と言いました。

(後半)

警察官は言いました。自分が直接とらなくても、見張りをしただけで万引きしたことになるんだよ。B男君が見張りをしなければA男君は万引きが出来なかった。お店は万引きされずにすんだんだよ。B男君は万引きという犯罪を手伝ったことになるんだ。

万引きは刑法の窃盗という犯罪なんだ。十年以下の懲役または五十万円以下の罰金という大変重い罪なんだ。

万引きした物をもらうことも犯罪なんだ。たとえばB男君の自転車が盗まれたとしよう。盗んだ人が別の人にあげてもよいということになると、盗まれた自転車はB男君のところに戻ってこない。本当にそれでいいんだろうか。

本当の持ち主の物を守るために、盗むことも、盗んだ物をもろうことも、盗んだ物を買うこともやってはいけない犯罪と決められているんだ。自分の物が大切なように、相手にとっても相手の物は大切なんだ。お互いに相手を大切にしようという気持ちがあつて、安心して暮らせる世の中が成り立つんだ。法律は正しい人が安心して生活できるようにつくられているんだ。私たち一人一人がきまりや法律を守り、人に迷わくをかけないようにすることが、社会生活をしていく上で大切なことなんだ。

B男は警察官の話を聞いて 深くうなずきながら言いました。

万引きをすることは？

( )年( )組 氏名

1 ①「でも・・・。」と言った時、B男はどんな気持ちだったでしょう。

|  |
|--|
|  |
|--|

2 ②「ぼくは何もっていません。見ていただけです。」と言った時、B男はどんな気持ちだったでしょう。

|  |
|--|
|  |
|--|

3 ③深くうなずいたB男はどんなことを言ったのでしょうか。

|  |
|--|
|  |
|--|

4 今日の授業をとおして考えたことを書いてください。

|  |
|--|
|  |
|--|

## 6 個人用ワークシート

### 万引きをすることは？

|          |    |  |
|----------|----|--|
| ( )年( )組 | 氏名 |  |
|----------|----|--|

1 ①「でも・・・。」と言った時、B男はどんな気持ちだったでしょう。

- ・見つかるかも知れないし、見つかったら大変。
- ・見つからなくても万引きはドロボウ。
- ・見つからなくても悪いことをしたという気持ちが残る。

2 ②「ぼくは何もとっていません。見ていただけです。」と言った時、B男はどんな気持ちだったでしょう。

- ・自分がとったわけではない。
- ・見ていただけ。
- ・見ていただけだから悪くない。

3 ③深くうなずいたB男はどんなことを言ったのでしょうか。

- ・見ているだけとかもらうだけとか軽く考えていたが、大変悪いことをしてしまった。
- ・家族や友達、お店や社会にも大きな迷わくをかけてしまった
- ・きまりや法律はわたしたちを守るためにつくられていると思った。
- ・悪いことは絶対にしない。悪いことをさそわれたらきっぱりと断ろうと思った。

4 今日の授業をとおして考えたことを書いてください。

- ・悪いことをすると家族を悲しませ迷わくをかける。
- ・悪いことをすると親や友達から信用をなくしてしまう。
- ・万引きはお店や社会にも大きな迷わくをかけていることが分かった。
- ・自分でやったことには責任を持たなければならない。やってよいこと、悪いことを自分でよく考えようと思った。
- ・これからはきまりを守って、悪いことはしないように、正しいことは進んでやろうと思った。

## 7 実施案

| 時間  | 過程 | 指導内容・活動  |   | 学習内容・活動  |
|-----|----|--|---|--|
|     |    | T 1 (教師)   | T 2 (補導員)   |  |
| 7分  | 導入 | <p>◆今日は「どうして万引きをするのか」について学習します。</p> <p>◆今日一緒に授業をします、_____の_____さんです。では、ご挨拶をお願いします。</p> <p>○発表させる。</p>  | <p>○あいさつをする。</p> <p>6年生の万引きのアンケート結果で97.6%の人が「絶対にしてはいけない」と回答していますが、友達から誘われた場合、「絶対に断る」が男子79.8%、女子88.2%と減少しています。なぜ、断れないのでしょうか。</p>   | <p>○話を聞いて、学習内容を知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どうして万引きをするのか</p> <p>○よろしくをお願いします。</p> <p>○アンケート結果を提示する。</p> <p>○発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・断りにくい、仲間はずれにされる。</li> <li>・万引きは悪いことだが、ちょっとしたことでそれほど悪いことではない</li> <li>・できないと思われたくない、できると言った方が格好良い。</li> </ul>                                |
| 15分 | 展開 | <p><b>資料「前半」を読む</b></p> <p>◆どうして万引きをするのか、資料を読んで考えてみましょう。(資料前半を範読する)</p> <p>◆①「でも・・・。」と言った時、<br/>②「ぼくは何もとっていません。見ていただけです。」と言った時、<br/>B男はどんな気持ちだったでしょう。ワークシートに書いてください。<br/>○書いたことを発表させる。</p> | <p>○必要に応じて補足説明をする。</p> <p>「でも・・・。」と言った時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万引きはドロボウで犯罪</li> <li>・家族を悲しませ迷惑をかける</li> <li>・自分の信用がなくなる</li> <li>・お店に迷惑をかける</li> </ul> <p>「ぼくは何もとっていません・・・。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見張りは万引きの手伝い</li> <li>・お店の人は販売した利益で生活している、本を盗まれて困る</li> <li>・ドロボウは犯罪、警察に捕まる</li> </ul> | <p>○B男の気持ちを考えて、ワークシートに書く。</p> <p>○発表する</p> <p>①「でも・・・。」と言った時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見つかるかも知れない。</li> <li>・見つからなくても万引きはドロボウ。</li> <li>・見つからなくても悪いことをしたという気持ちが残る。</li> </ul> <p>②「ぼくは何もとってきません・・・。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がとったわけではない。</li> <li>・見ていただけ。</li> <li>・見ていただけだから悪くない。</li> </ul> |

| 時<br>間<br>程           | 指導内容・活動   |   | 学習内容・活動  |
|-----------------------|---|---|--|
|                       | T 1 (教師)  | T 2 (補導員)   |  |
| 1<br>5<br>分<br>後<br>半 | <b>資料「後半」を読む</b>  |   | <p>○ワークシートに書く。</p> <p>○発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見ているだけとかもらうだけとか軽く考えていたが、大変悪いことをしてしまった。</li> <li>・家族や友達、お店や社会にも大きな迷わくをかけてしまった。</li> <li>・きまりや法律は私たちを守るためにつくられていると思った。</li> <li>・悪いことは絶対にしない。悪いことをさそわれたらきっぱりと断わろうと思った。</li> </ul> <p>○挙手する<br/>ある ( 人)・ない ( 人)</p> <p>○発表する。<br/>正しいことをやりぬいたことを賞賛し、そのときの気持ちのよさを共有させる。</p> |
|                       | <p>◆この後、どうなったのでしょうか。続きを読んでもらいます。</p> <p>◆③深くうなずいたB男はどんなことを考えていたのでしょうか。ワークシート書いてください。</p> <p>○書いたことを発表させる。</p> <p>◆今までの生活を振り返って、悪いさそいに負けてしまったことがありますか。</p> <p>○挙手させる ある ・ ない</p> <p>◆悪いさそいに負けそうになってもがまんできたことがありますか。</p> <p>○発表させる。</p> | <p>◆資料「後半」を読む。</p> <p>○必要に応じて補足説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万引きの常習化について</li> <li>・万引きから凶悪犯罪へ</li> <li>・グループでの万引き</li> <li>・自分でやったことには責任が伴う</li> <li>・自分で正しいと思ったことはやり通す</li> </ul> |  |
| 8<br>分<br>末           | <b>まとめ</b>  |   | <p>○ワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悪いことをすると家族を悲しませ迷わくをかける。</li> <li>・悪いことをすると親や友達から信用をなくしてしまう。</li> <li>・万引きはお店や社会にも大きな迷わくをかけていることが分かった。</li> <li>・自分でやったことは責任を持たなければならない。やって良いこと、悪いことを自分でよく考えようと思った。</li> <li>・これからはきまりを守って、悪いことはしないように、正しいことは進んでやろうと思った。</li> </ul>  |
|                       | <p>◆最後に、_____さんからお話をさせていただきます。お願いします。</p> <p>◆今日の授業をとおして考えたことや感想をワークシートに書いてください。</p> <p>*時間があったら発表させる。</p>  | <p>○話をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な立場から、万引きでつかまった小学生の処遇について説明する。</li> <li>・やって良いことか悪いことか自分で判断し、悪いことは絶対にしない強い気持ちを持たせる。</li> </ul>   |  |

### Ⅲ 小学校中学年 体験型万引き防止教室

#### 1 少年警察補導員等とのTTによる体験型万引き防止教室について

##### 1 ねらい

下記場面絵や担任と少年警察補導員等警察職員の役割演技を基に、友達に万引きを誘われた場面や警察に呼ばれた場面などでの気持ちを話し合ったり、少年警察補導員からの事例に基づく話を聞いたりすることにより、正しいことは勇気をもって行い、正しくないことは勇気をもって断る態度を養う。

対象：小学生中学年(主として3・4年生)(保護者も一緒に参加できると効果的)

##### 2 事前の取り組み(例)

- 児童・保護者に万引き防止教室を実施することを知らせる。
- 必要に応じて、万引き等に関する事前調査をする。(省略可)
- 少年警察補導員との事前打ち合わせをする。

##### 3 万引き防止教室の実施

(1) 資料1・2や役割演技を見て、万引きにさそわれたときの気持ちを考える。

(資料1)



(資料2)



(2) 資料3・4を見て、店の人に見つかった時の気持ちや家の人々の気持ちを考える。

(資料3)



(資料4)



(3) 少年警察補導員等からの話を聞き、自分の考えをまとめる。

##### 4 事後の取り組み(例)

- 振り返りシートなどを活用し、万引き防止の継続指導をする。
- 児童の意識や評価を集計・分析し、事後の教育活動に役立てる。
- 授業の様子や児童の書いた文章を学級通信等に掲載して、保護者に啓発する。

「体験型非行防止教室」実施案

| 時間 | 過程 | 指導内容・活動  |  | 学習内容・活動   |
|----|----|--|--|---|
|    |    | T 1 (教師)   | T 2 (補導員等)   |   |
| 5  | 導入 | <p>◆今日の学習について簡単に説明します。<br/>今日は、「万引きをすることは、どういうことか」について学習します。しっかり勉強しましょう。</p> <p>◆今日一緒に授業をします、_____の_____さんです。では、ご挨拶をお願いします。<br/>よろしくお願いします。</p>                          | <p>○あいさつをする。</p>   | <p>○話を聞いて、学習内容を知る。<br/><b>万引きとは、どういうことか</b></p> <p>○よろしくお願いします。</p> |
|    |    | <p><b>「場面1」の資料の提示</b></p> <p>◆_____さん。この絵は、どういう場面の絵ですか？</p> <p>◆皆さんは、お店に売っている物で今欲しい物がありますか？</p> <p>○ある人に発表させる。</p> <p>◆その欲しい物がお店にあるけど、今はお金がない。どうしますか？</p> <p>○発表させる。</p> |  | <p>○絵の説明をする。</p>  |
| 35 | 展開 | <p><b>「場面2」 T 1とT 2がロールプレイをする。</b></p> <p>◆ではこれから、絵の中の二人がどうしたか、先生と_____さんとで劇をします。</p>  |  | <p>○劇を見る。</p>   |
|    |    | <p>②本当だ。おもしろそうだね。</p> <p>④お金が足りないんじゃない、しょうがないね。また、今度にしよう。</p> <p>⑥えーっ。</p> <p>⑧えーっ。でも見つかったら大変だよ。</p> <p>⑩ええっ・・・。</p>   | <p>①ねえねえ、_____君。この本面白そうだね。今、人気があるんだ。</p> <p>③僕欲しいな。でも、けっこう高いね。お金、足りないな。</p> <p>⑤でも、明日は売り切れてしまうかも？<br/>ねえねえ、_____君。今なら、やれるよ。万引きしちゃおうぜ。</p> <p>⑦大丈夫。見つからないよ。</p> <p>⑨平気だってば。_____君は弱虫だな。それなら、今度から仲間はずれだよ。遊んでやらないよ。</p> |   |

| 時間<br>経過                     | 指導内容・活動   |                  | 学習内容・活動   |
|------------------------------|---|------------------|---|
|                              | T 1 (教師)  | T 2 (補導員等)       |   |
| 35<br>展<br>開                 | <p>◆劇はここまでです。[ ]君は、<br/>[ ]君に、万引きに誘われました。<br/>皆さんに、この時の[ ]君の気持ちを<br/>考えてもらいます。紙に書いてくださ<br/>い。</p> <p>○書いたことを発表させる。</p>  |                  | <p>○[ ]君の気持ちを考えて、<br/>ワークシートに書く。 <b>1</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"></div> <p>○発表する。</p>   |
|                              | <b>場面3 (万引きをして、店の人に見つかる)</b>  |                  |   |
|                              | <p>◆では、この後、二人はどうしたのでしょ<br/>うか。[ ]さんに、お話をしてもら<br/>います。</p> <p>◆[ ]君は、万引きをしてしまったん<br/>ですね。お店の人に見つかってしまった<br/>時、どんな気持ちだったでしょうか。想<br/>像してみましょう。</p> <p>○発表させる。</p>  | ○話をする。(場面の説明)    | <p>○話を聞く。</p> <p>○[ ]君の気持ちを想像する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうしよう。</li> <li>・ しなければよかった。</li> <li>・ 家の人には言わないで。</li> </ul> </div> |
| <b>場面4 (警察での事情聴取。両親も謝る。)</b> |   |                  |   |
|                              | <p>◆まだ話の続きがあります。また[ ]<br/>さんにお話をしてもらいます。</p> <p>◆おうちの人はどうな気持ちか、想像して<br/>発表してください。</p> <p>◆[ ]君は、(こうならないために)<br/>どうすればよかったのかを考えて、プリン<br/>トに書きましょう。</p> <p>○発表させる。</p> <p>*時間があつたら</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">       子どもに、誘われたらどうするか、実際にやらせる。(ロールプレイをする)     </div> | ○話の続きをする。(場面の説明) | <p>○話の続きを聞く。</p> <p>○家の人の気持ちを想像して、発<br/>表する。</p> <p>○[ ]君はどうすればよかつ<br/>たのかワークシートに書く。 <b>2</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"></div> <p>○書いたことを発表する。</p>                         |
| 5<br>と<br>め                  | <p><b>まとめ</b></p> <p>◆最後に、また[ ]さんからお話をし<br/>ていただきます。お願いします。</p> <p>◆お店の物、また、人の物をとることは、<br/>絶対にしてはいけないことです。</p> <p>◆今日の学習の感想や意見をプリントに書<br/>いておいてください。</p>  | ○話をする。           | <p>○話を聞く。</p> <p>○後で感想や意見を書くことを知<br/>る。</p>   |

# 万引きをすることは？

年 組 番 ( )

友だちに万引きをさそわれた時の、じろう君の気持ちを考えよう。



|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

じろう君は、どうすればよかったのでしょうか。

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |

今日の学習で、思ったことや、考えたことを書きましょう。

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |